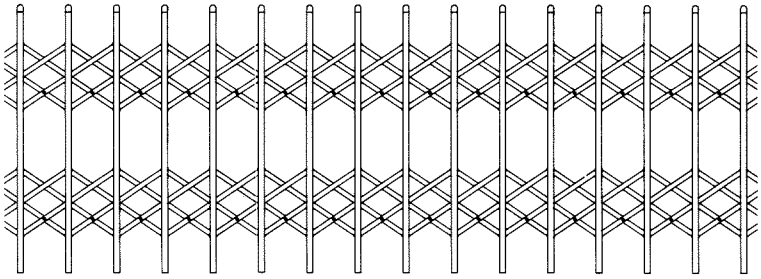
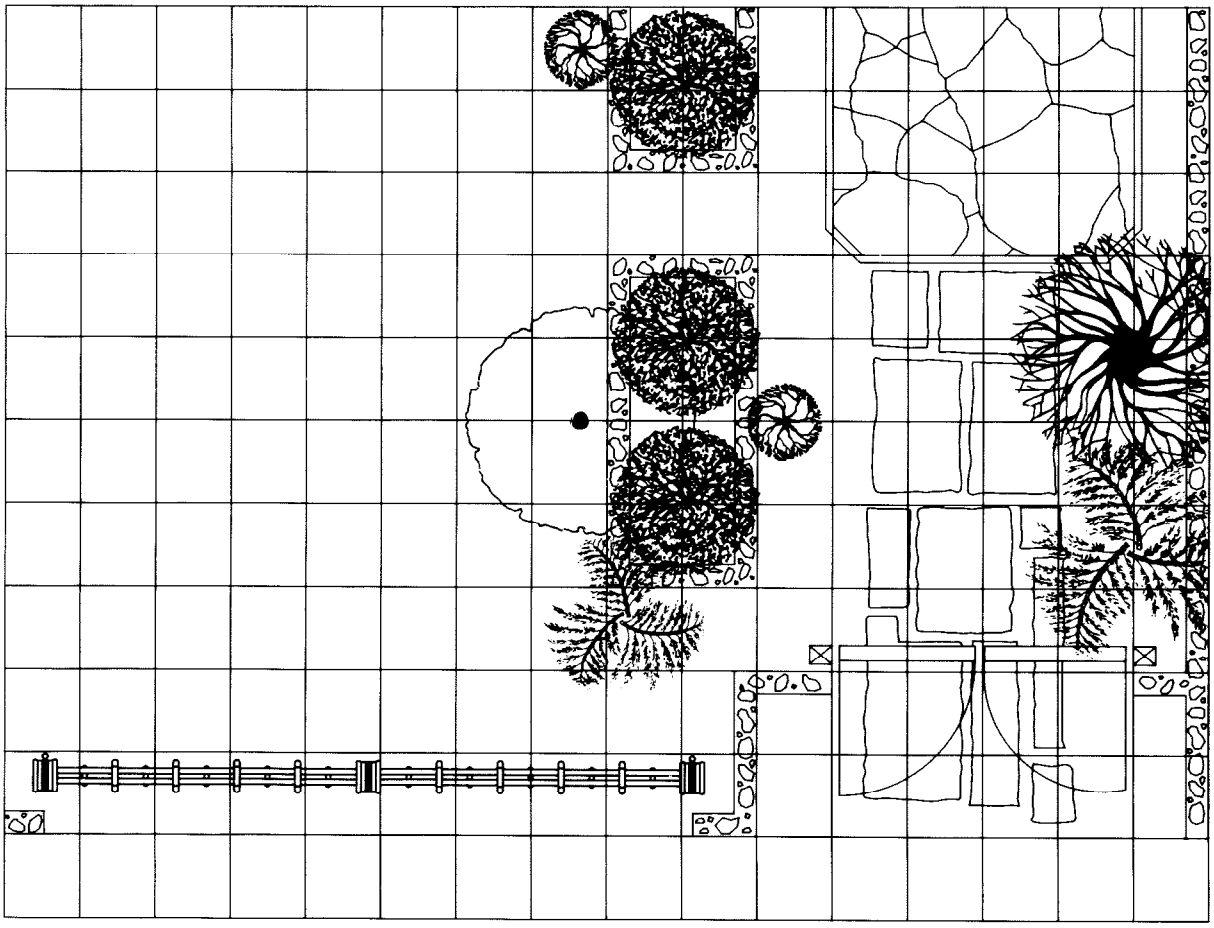
新日軽伸縮門扉

取説番号 ME-311



デュースB型 キャスター式
取付取扱説明書

■ 新日軽伸縮門扉《デュースB型》キャスター式をお買上げいただきありがとうございました。
末永くご使用いただくため取付取扱い説明書をよく読んでいただき正しい施工・正しい取扱いをお願いいたします。



新日軽株式会社

■ お客様へ　　取扱いの手引

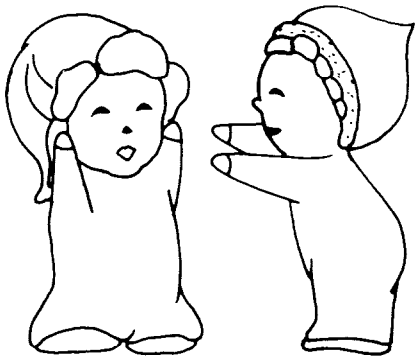
■《デュースB型》キャスター式をお買い上げいただきましてありがとうございました。
いつまでもご使用いただくため、下記の事項にご留意くださいますようお願いいたします。

1 この《デュースB型》キャスター式はアルミ製ですが、いつまでもきれいに気持よくご使用いただくため時々、布で表面の汚れを拭き取って下さい。

2 キャスターの走行をよりスムーズにするため回転部の車軸部に適時、注油して下さい。

3 子供などのいたずらで扉に乗って走行させるなど無理な使い方をしますと故障の原因ともなりかねませんのでご注意下さい。

4 《デュースB型》キャスター式には落し錠受けがついていますので、扉を開いた時も、閉じた時も、必ず落し錠をお使いください。



■ 施工店名

■ 注意事項

新日軽のアルミ製品はＪＩＳの表面処理規定を十分クリヤーした製品をお届けしていますが、取扱いによっては異状腐食をおこし思わぬトラブルとなりますので、施工にあたっては次のような点を注意してください。

①モルタル用に**海砂**を使用されますと、塩分が多量に含まれていますから腐食の原因になりますのでその使用を避けていただくか、十分水洗いしたものを使用してください。

②モルタルやコンクリートの**抽出液**が工事中にアルミ製品の表面を流れないように注意してください。
抽出液は強アルカリ性で、しみやむら等の外観不良や腐食の原因になります。

③モルタルやコンクリートの**急結剤**は腐食の発生や促進作用があるのでその使用を避けていただくか、塩化カルシュウムや塩素系の化合物・硅酸ナトリウム等の入っていないものを使用してください。

④施工時にアルミ製品の表面に**付着**したモルタルやコンクリート等は速やかに清掃してください。また、表面にキズをつけますと腐食しやすくなりますので取扱いには十分注意してください。

⑤アルミ製品と**銅板やラス等**の異種金属が接触しないようにしてください。
接触する場合にはビニールテープ等を貼るか塗料等で絶縁処理をしてください。

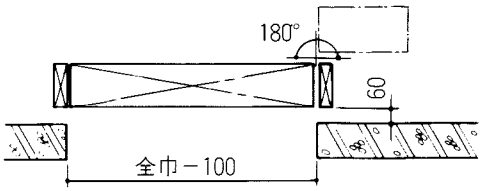
⑥腐食の恐れのある**接着剤や化学薬品**を施工上使用する場合は、アルミ製品と接触しないようにしていただくか、接触する部分を完全に養生してください。

■《デュースＢ型》キャスター式施工納まり図

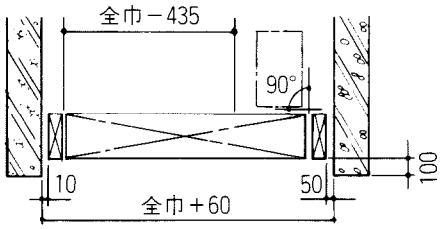
■ 下図に示した以外の納まりの場合などは下図の納まりの組合せによって施工して下さい。

■ 片開き納まり

塀と平行になる場合

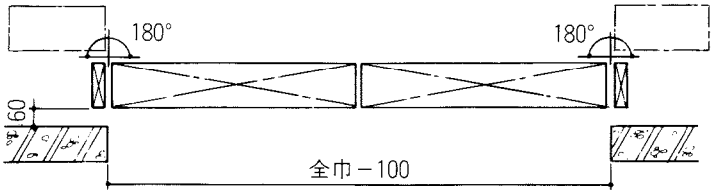


塀と直角になる場合

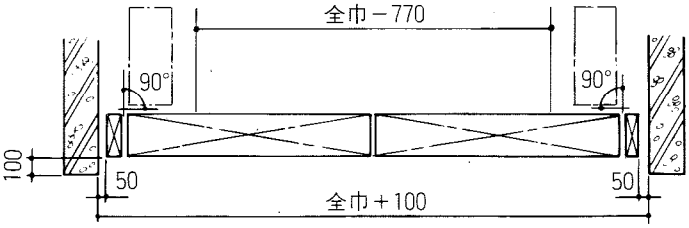


■ 両開き納まり

塀と平行になる場合

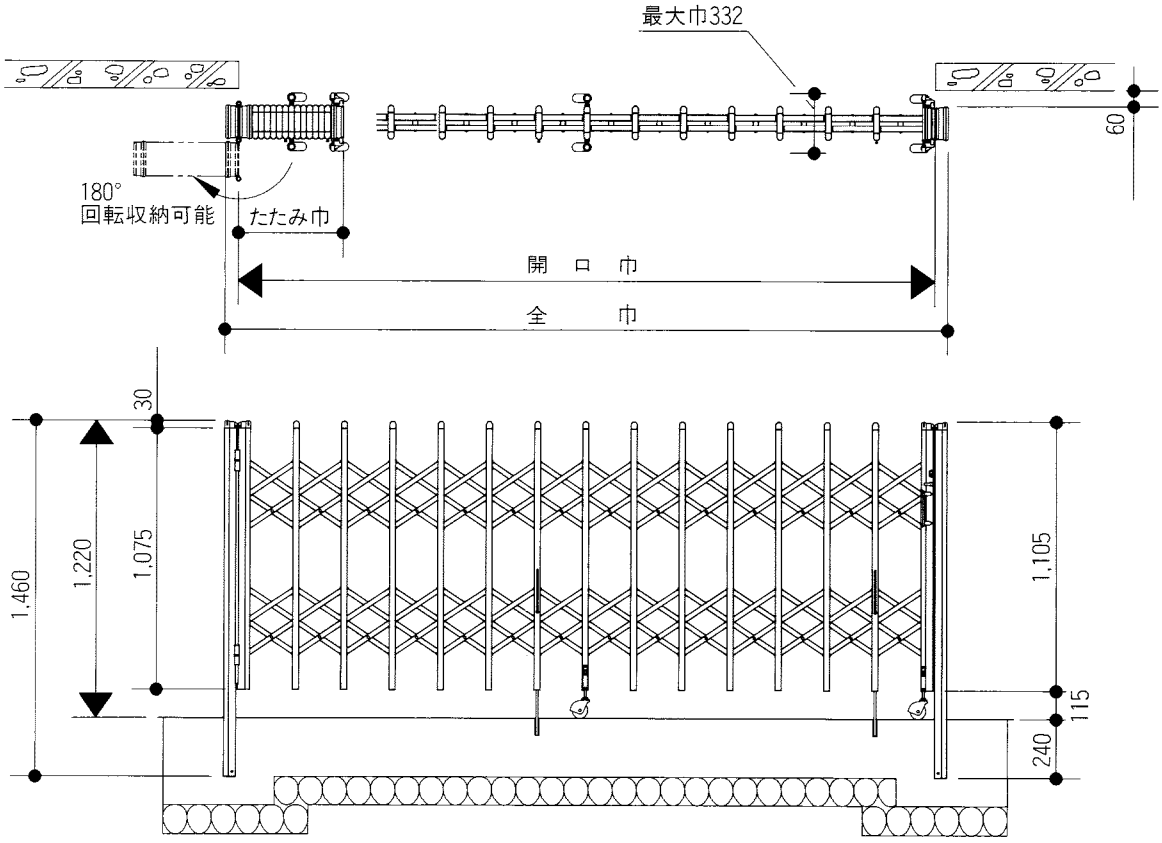


塀と直角になる場合

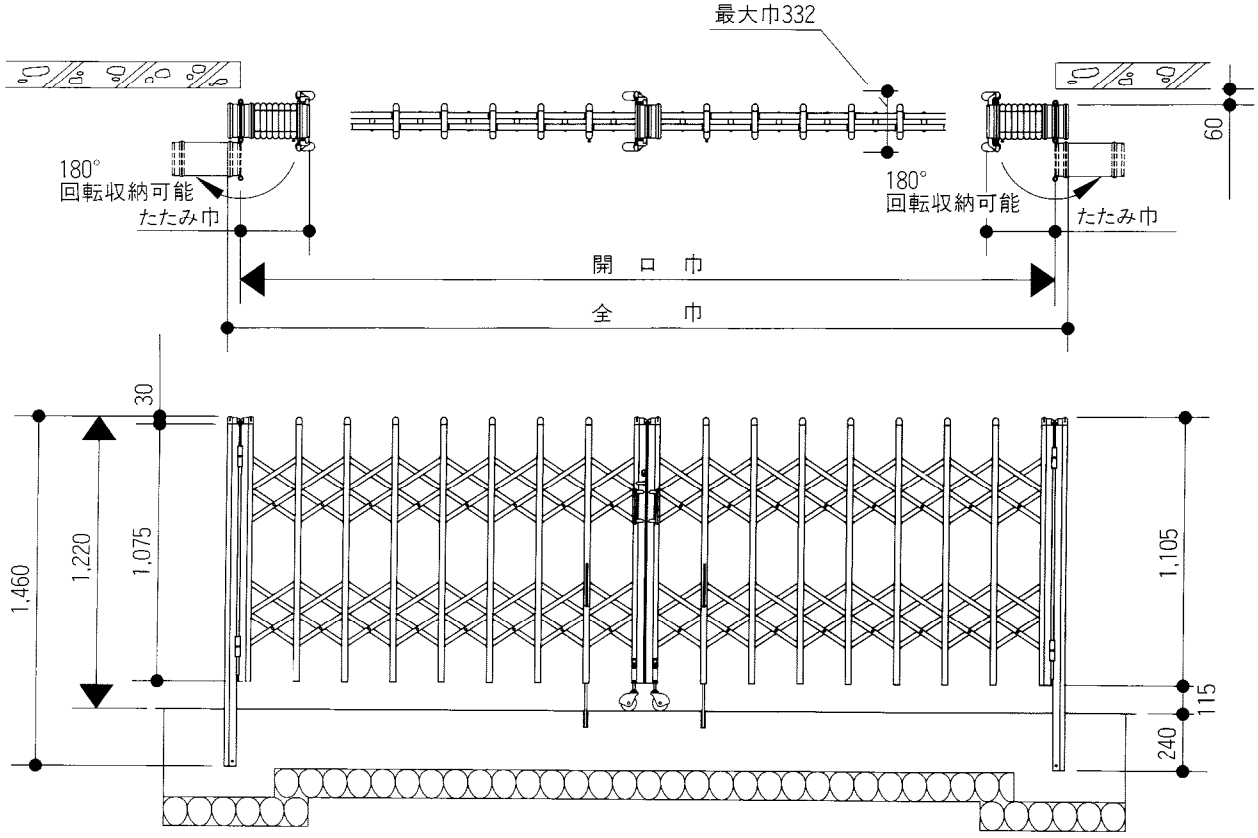


本体図

片開き


最大巾332
60
180°
回転収納可能
たたみ巾
開　口　巾
全　　巾
30
1,460
1,220
1,075
1,105
115
240

両開き


最大巾332
60
180°
回転収納可能
たたみ巾
180°
回転収納可能
たたみ巾
開　口　巾
全　　巾
30
1,460
1,220
1,075
1,105
115
240

■ 仕様

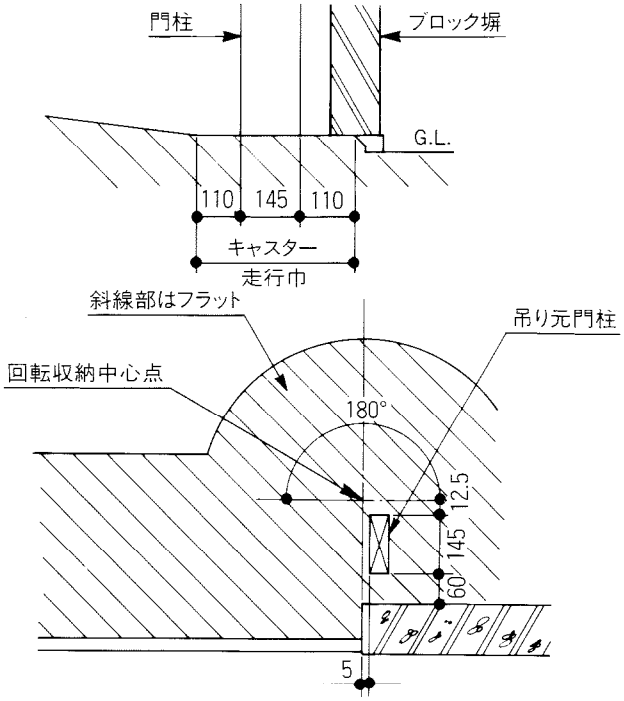
（　）内　C コハク　S セピアブラック
E ステンカラー（受注生産品）

型　　式	全　巾　㎜	開　口　巾　㎜	たたみ巾　㎜
（　）PNNA25S	2594	2483.5	383.5
（　）PNNA29S	2994	2883.5	433.5
（　）PNNA33S	3394	3283.5	483.5
（　）PNNA37S	3794	3683.5	533.5
（　）PNNA43S	4394	4283.5	608.5
（　）PNNA47S	4794	4683.5	658.5
（　）PNNA53S	5394	5283.5	733.5
（　）PNNA38W	3881	3774	308.5×2
（　）PNNA46W	4681	4574	358.5×2
（　）PNNA54W	5481	5374	408.5×2
（　）PNNA62W	6281	6174	458.5×2

■部品明細

名　　称	略　図	片　開　き							両　開　き			
		25S	29S	33S	37S	43S	47S	53S	38W	46W	54W	62W
落し錠受け		5	5	5	7	7	7	7	6	10	10	10
アンカー棒 ⌀9×200ℓ		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
鍵		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

1 はじめに



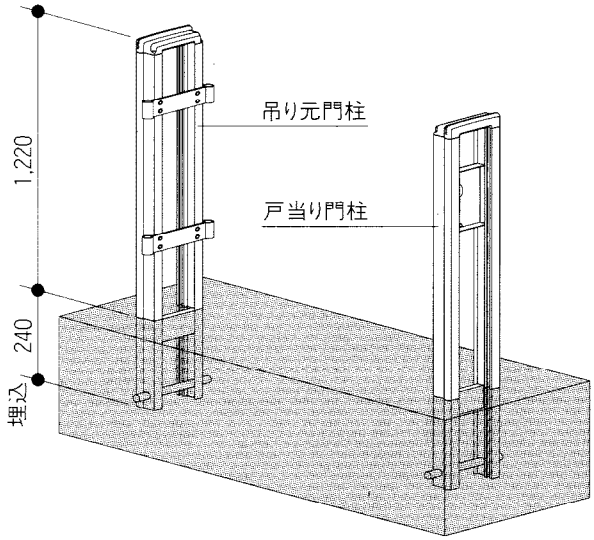
■ 床面の仕上げは本体走行上キャスターの走行巾分はフラットに仕上げて下さい。開けた時本体を回転させる場合は回転半径（本体の縮巾）も考慮に入れて仕上げて下さい。

3ヒンジ取付方法を参考に本体上側ヒンジのヒンジパイプを止めているタッピンビス（⊕4×10ℓ）をゆるめヒンジキャップ及びヒンジパイプを引き抜いて下さい。

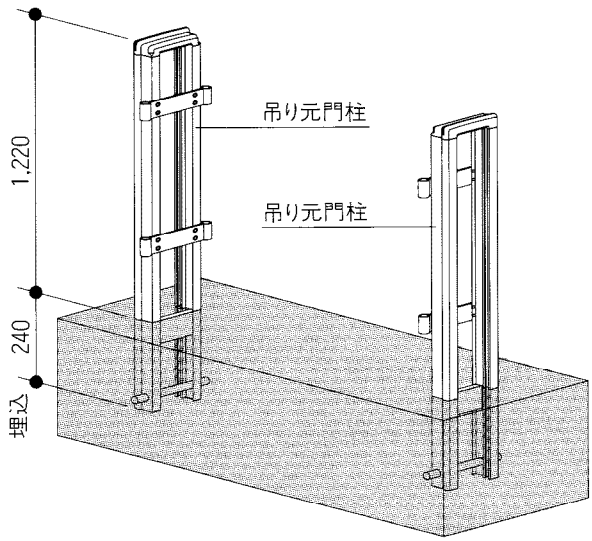
2 門柱の取付方法

■ 門柱埋込位置は、施行納まり図を参照して下さい。
門柱は垂直に埋込んで下さい。

■ 片開き

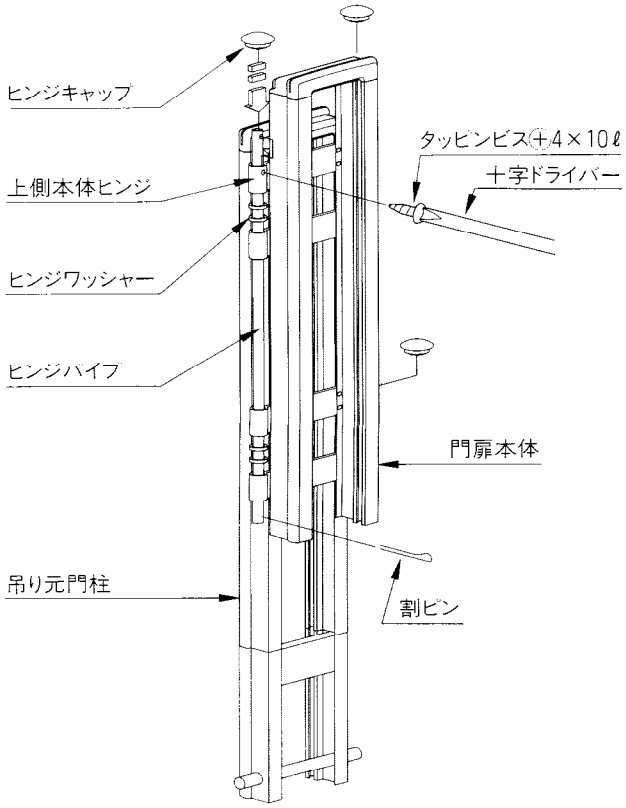


■ 両開き

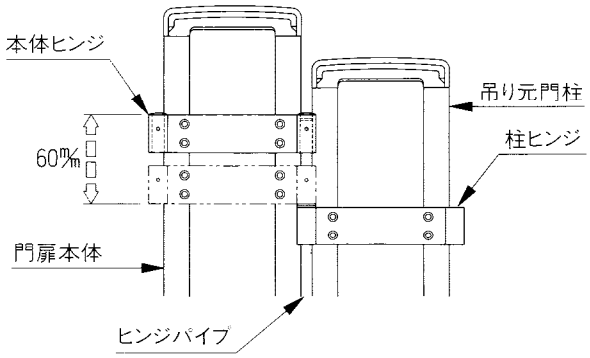


3 ヒンジ取付方法

《片・両開き共通》

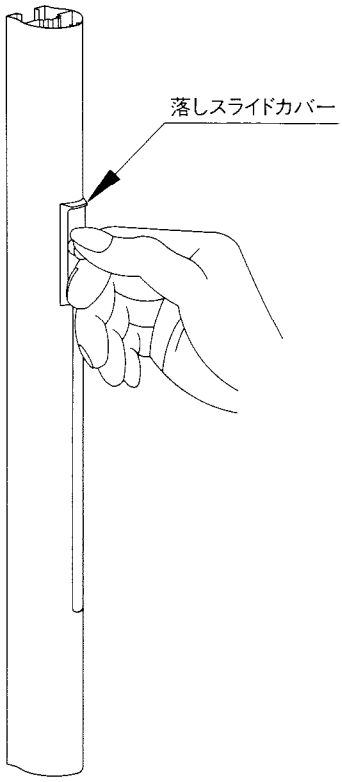


■ 本体の取付けは左図のように柱ヒンジと本体ヒンジの間にワッシャーを２枚ずつ入れヒンジパイプを上側よりヒンジに差し込み本体を伸ばし上側本体ヒンジの止め穴とヒンジパイプの穴を合わせ本体側よりタッピンビス（⊕４×10ℓ）で固定し本体ヒンジにヒンジキャップを差し込みヒンジパイプ下部に割ピンで抜け止めをして下さい。
（ヒンジパイプは回転収納側につけて下さい。）
水はけ等で勾配をつけられる場合も回転収納と同時に門扉本体が60㎜までスライド可能な方法にしてあります。



4 落し錠の操作方法

《片・両開き共通》

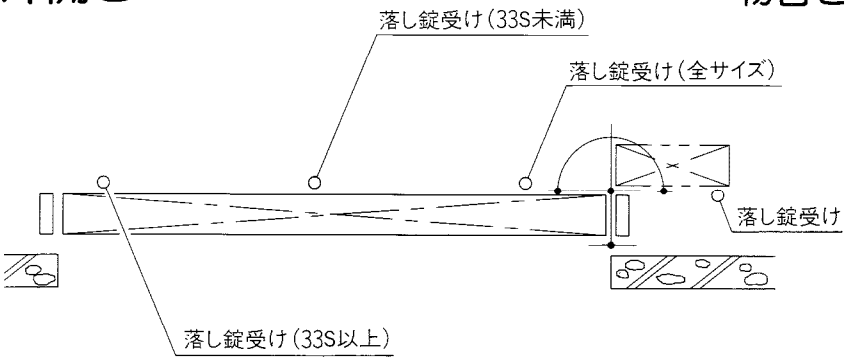


■ 落し錠の動作の際は、落しツマミネジを持ち、左図の様に、落しスライドカバーに指を添えて上、下にスライドさせ御使用下さい。

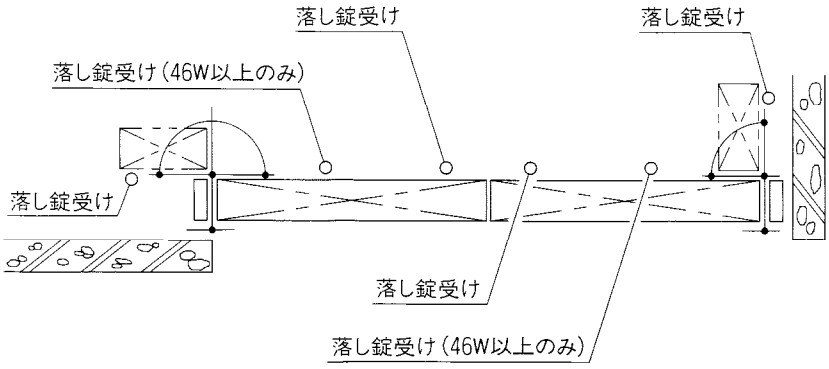
5 落し錠受けの設置

■ 落し錠受けの位置は左図を参照し現物合せで施工する様にして下さい。

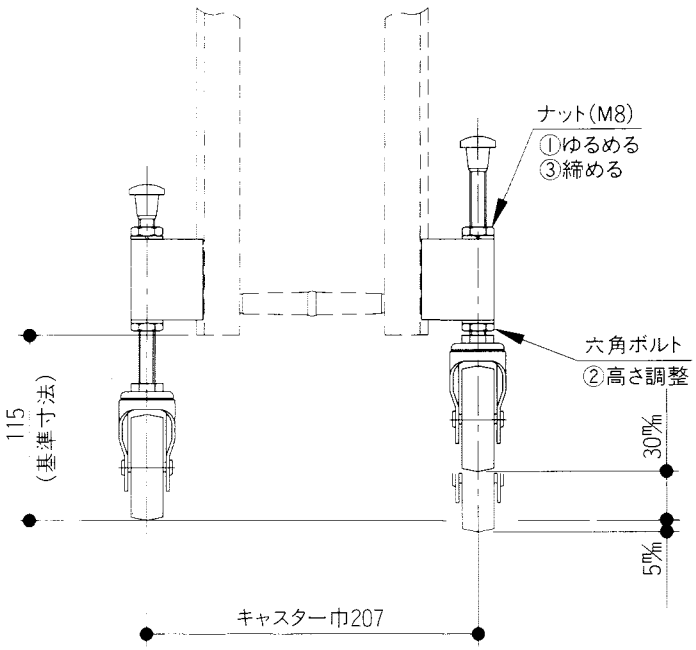
■ 片開き



■ 両開き



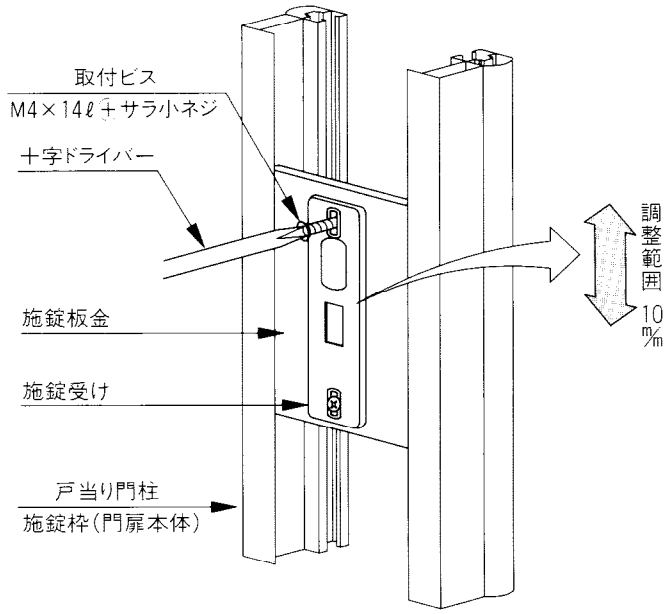
6 キャスターの高さ調整



■ 水はけの勾配当高さの調整が必要な場合は左図のようにキャスターで35㎜まで調整出来ます。
調整方法は図中の番号順にしたがって調整して下さい。

7 施錠受けの高さ調整

《片・両開き共通》



■ 施錠合せ等の高さ調整が必要な場合は、左図のように取付ビスをゆるめて施錠受けを上下調整してください。

■ おわりに

■ 以上で取付は完了ですが、お客様に正しく取扱っていただくために表紙裏に取扱いの手引きの欄を設けてありますので施工完了後は、表紙の頁は切り離してお客様にお渡し下さい。